



全国保健師長会ニュース

令和7年10月運営会議発行 No. 2

令和7年度 第2回理事会

令和7年9月20日（土）に第2回理事会を会場（AP 東京丸の内）およびZoomでのハイブリッドで開催しました。

1 前田会長あいさつ

朝夕は秋の訪れを感じられるようになってまいりました。

一方、東海から沖縄にかけては、熱中症の危険性が高い状態が続く予報もあり、記録的な猛暑や大雨、竜巻など、想定を超える気象災害が各地で頻発し、甚大な被害をもたらしております。

また、先日の敬老の日に総務省が発表した「統計からみた我が国の高齢者のすがた」によりますと、65歳以上人口は3,619万人と前年に比べ5万人減少している一方で、総人口に占める割合は29.4%と過去最高となっております。少子高齢化、生産年齢人口の減少も、今後、さらに進展することから、保健師活動においても未来を見据えた活動の推進が重要となっております。

昨年度の地域保健総合推進事業「2040年を見据えた令和における保健師の地区活動の推進について」においては、「令和における地区活動のあり方」および「2040年を見据えた地区活動として語られた保健師の技」を明らかにしております。

今後は、それらを継承できるよう取組を進める必要があり、今年度は市町村部会が中心となり、保健師が地区活動を維持・発展できる現任教育のあり方に関する調査研究事業を実施し、保健師現任教育について考察することとしております。

また、当会独自調査研究事業では、徳島県の方々が地域に根ざした保健師活動の次世代への継承をテーマに、次世代に継承する保健師の「実践知」を明らかにし、地域に根ざした保健師の具体的な支援活動や地域づくりへの工夫を明確化することとしております。

保健師活動指針についても、年度内の見直しが予定されていることから、それらも視野に入れながら、私たちは勿論、次世代の保健師たちも活き活きと活動できるよう、保健師リーダーのつながりを強化し、未来を見据えた保健師活動の展開、継承に向け、引き続き、皆さまのご協力をお願いいたします。なお、本日は、11月の代議員総会に向けた重要な議題等がございますので、皆さま、忌憚のないご議論のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2 議事

(1) 委員会の名称変更及び新設等について

災害時保健活動特別委員会は、「災害時における保健師活動マニュアル」を作成、改訂し、主にマニュアル等に基づいた災害時における保健活動の推進を図ってきましたが、コロナ禍以降、感染症に関する健康危機管理にも活動の幅を広げていることから、「健康危機管理特別委員会」に変更します。

全国保健師長会は2028年度（令和10年度）に発足50周年の大きな節目を迎えます。2028年度の代議員総会開催地（京都府）以外の各ブロックから選出された委員6名からなる「全国保健師長会50周年記念事業特別委員会」を新設します。この特別委員会では、全国保健師長会の足跡をまとめるとともに、記念事業を企画立案し、関係機関や団体と連携し事業を実施します。

(2) 全国保健師長会内規の改正について

災害時保健活動特別委員会（新 健康危機管理特別委員会）をはじめ各委員会においては、調査研究や学術集会におけるワークショップの実施等のほか国等の調査研究への協力など活動が拡大しており、委員への負担が増加しています。このため、委員の増員を図る必要性があることから、部会・委員会の委員を10人以内（現行は5人程度）に改正します。

また、令和7年11月15日の代議員総会において、新たに「常任理事（健康危機管理担当）」を指名し、代議員総会以降、業務の執行にあたるようにするため、会務分掌を一部改正します。

(1) (2) については、理事会で承認されました。

(3) 第47回代議員総会について

令和7年11月15日（土）に徳島県会場（徳島グランヴィリオホテル）とWebによるハイブリッド方式で開催される代議員総会の運営及び議案（案）について内容説明があり、記載事項に間違いがないかなどの確認を行いました。



午後の部：研修会

- | | |
|--------------|---|
| 基調講演 | 「多様性の時代に求められる管理職保健師の対応能力とは ～組織管理と人材育成について～」
神戸市看護大学健康生活看護学領域公衆衛生看護学分野 教授 岩本 里織 氏 |
| 実践報告① | 「保健師の副町長として考える組織間連携による包括的支援体制の実現と人材マネジメントについて」
奈良県田原本町 副町長 工藤 華代 氏 |
| 実践報告② | 「組織において求められる統括保健師・管理職保健師の役割について（仮）」
徳島県保健福祉部 地域保健統括官 梅田 弥生 氏 |

(4) 令和9年度地域保健施策及び保健活動の推進に向けた国への要望について

各部会、ブロック理事、支部の方々に意見の集約をしていただきありがとうございました。いただいたご意見をもとに8月23日の第2回国家要望に関する委員会で意見交換し、現在検討中です。今年度は「人材育成・人材確保」「母子保健・児童福祉」「健康危機管理」の分野において、要望事項をまとめたいと考えています。

統括保健師間ネットワーク推進特別委員会、健やか親子特別委員会、災害時保健活動特別委員会、都道府県部会の方のご協力をいただき、要望内容をまとめていきます。

3 報告事項

(1) 健やか親子特別委員会

一昨年から研究をすすめ、今年度倫理審査で承認されましたので、今後実際にインタビューを行っていくことになりました。インタビューを行うにあたり、調査への協力依頼等の文書を発出します。またテーマは「市町村熟練保健師が重視する母子保健ポピュレーションアプローチの内容と課題」となりましたが、内容はポピュレーションアプローチの予防的視点等を具体化・可視化するというもので、大きく変更とはなっていません、との報告がありました。



全国保健師長会ホームページ：<https://www.nacphn.jp/>



🌸 全国保健師長会ニュースは、ホームページの「こんな活動をしています」－「理事会・拡大常任委員会・常任理事会報告」のページに掲載しています。

作成：広報委員会